

## 2019年 TOEIC<sup>®</sup> Listening & Reading Test 世界の受験者スコアとアンケート結果を発表いたします。

### 日本の平均スコアは、523点

日本で TOEIC<sup>®</sup> Program を実施・運営する国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC) (所在地: 東京都千代田区永田町、理事長: 室伏貴之) は、TOEIC<sup>®</sup> Program を開発している Educational Testing Service (以下、ETS) がまとめた 2019年 (1月~12月) の世界における TOEIC<sup>®</sup> Listening & Reading Test (以下、TOEIC L&R) 受験者スコアと受験者が回答したアンケート結果を発表いたします。

■ TOEIC<sup>®</sup> L&R 国別平均スコア (2019年) ※年間の総受験者数が 500名以上の国のみを掲載

国名	TOEIC L&R トータル平均スコア
カナダ	877
ドイツ	812
レバノン	782
ベルギー	772
イタリア	763
ポルトガル	736
フランス	733
チュニジア	733
アルゼンチン	727
ロシア	726
モロッコ	725
スペイン	722
フィリピン	713
コスタリカ	713
マダガスカル	691
チリ	679
韓国	678
アルジェリア	673
ペルー	667
ヨルダン	666
インド	662
コロンビア	646
ブラジル	637
トルコ	623
ギリシャ	623

国名	TOEIC L&R トータル平均スコア
レユニオン	620
エクアドル	620
カメルーン	616
コートジボワール	614
マレーシア	611
ガボン	602
グアドループ	601
セネガル	588
コンゴ共和国	581
ミャンマー	580
エルサルバドル	577
メキシコ	572
中華人民共和国	571
ポーランド	568
台湾	562
マルティニーク	554
香港	541
<b>日本</b>	<b>523</b>
マカオ	516
アルバニア	496
ベトナム	490
タイ	485
インドネシア	471
モンゴル	468

■ 主な結果 ※アンケート回答者は、アジア地域の割合が高く、質問によって回答率が一定ではないことをご留意ください。

(1) TOEIC L&R 受験者の特徴

- ・英語学習において最も重視する能力として、23%が「リスニングとスピーキング」を選択
- ・日常生活において英語を使用する割合については、43%が「1~10%」と回答
- ・最も使用する英語の技能としては、19%が「リスニング」を、32%が「リーディング」を選択
- ・TOEIC L&R の受験経験については、40%が「3回以上」と回答
- ・受験目的として最も多かった回答は、31%が「英語学習のため」、24%が「就職活動のため」

(2) 国・地域別平均スコア

- ・地域別の平均スコアは高い順に、ヨーロッパ→アフリカ→南米→北米 (含メキシコ) →アジア
- ・日本の平均スコアは 523 点 (上表ご参照ください)

上記の内容以外にも、リスニング・リーディングセクション別の平均スコアや属性別の平均スコアを掲載したレポート「2019 Report on Test Takers Worldwide : TOEIC<sup>®</sup> Listening & Reading Test」を公式サイトに掲載しております。

<https://www.iibc-global.org/library/default/iibc/press/2020/p150/pdf/Worldwide2019.pdf>

**本リリースに関するお問い合わせ先**

広報事務局(株式会社カーツメディアワークス) 担当: 石黒・田口・小石・森山 Tel: 03-6427-1627 Email: iibc@kartz.co.jp

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC) 広報室 担当: 島田・福島 Email: pr@iibc-global.org 公式サイト <https://www.iibc-global.org>

**TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R)**

日常生活やグローバルビジネスにおける活きたコミュニケーションに必要な“英語で聞く・読む能力”を測定するテスト。テスト結果は10点から990点までのスコアで評価され、その評価の基準は常に一定に保たれる。スコアによる評価や英語能力を正確に測定できる質の高さが評価され、企業・団体においては昇進・昇格の要件として、また、社員の採用の際などに参考にされている。学校においても入試や単位認定などで広く活用されている。2019年度の日本における受験者数は約220万人。

2020年4月より、企業・学校・団体に実施される団体特別受験制度（IPテスト）において、オンライン方式のテストを導入、約1時間での実施が可能となる。公開テストは従来のマークシート方式（2時間）のテストを実施。

**一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC)**

「人と企業の国際化の推進」を基本理念とし、1986年に設立。

以来、「グローバルビジネスにおける円滑なコミュニケーションの促進」をミッションとし、国内外の関係機関と連携しながらTOEIC事業およびグローバル人材育成事業を展開している。

**ETS (Educational Testing Service)**

ETSは、厳密な調査をもとに各種試験を制作することで、世界中の人々にとっての教育の質と公平・公正性を向上させることを基本理念に、1947年に非営利組織として設立。

教育に関する調査・分析、また政策研究を実施することで、教員認定、英語学習、初等教育、中等教育、中等後教育向けにカスタマイズしたソリューションを個人、教育機関、官公庁や政府機関に提供。世界180カ国以上、9,000カ所以上において、年間5,000万件以上のテスト開発、実施、採点を行う。その中には、TOEFL® Program、GRE®テスト、The Praxis Series®アセスメントなどが含まれる。[www.ets.org](http://www.ets.org)